

2025年度「KGUデータサイエンスプログラム(リテラシーレベル)」の自己点検・評価の実施結果について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)

全学教育科目検討委員会 情報教育分科会	
(責任者名) 江頭 幸代	(役職名) 教務部長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
プログラムの履修・修得状況	オンライン授業の「KGUデータサイエンス概論」では、授業支援システム(LMS)「manaba」を活用し、履修者のアクセス・資料閲覧状況や課題への回答状況等を把握するとともに、フィードバックを提供することができる。また、対面授業の「KGUデータサイエンス演習」においても、「manaba」を補完的に用いて学習支援を行うとともに、出席確認システムを通じて履修者の出席状況の確認も可能である。 以上のことから、プログラムの履修状況を確認し、適宜サポートやフィードバックを学生に提供することにより、単位等の修得を促すとともに、プログラム運営の適切性を担保している。
学修成果	「学習と授業に関するアンケート」の設問「この授業の到達目標はどの程度達成できたと感じますか」に対して、「KGUデータサイエンス概論」と「KGUデータサイエンス演習」のいずれも、80%以上の学生が「かなりできた」もしくは「ややできた」に回答している。また、「KGUデータサイエンス概論」は81%、「KGUデータサイエンス演習」は76%の学生が単位を修得できている。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	以上のことから、本プログラムを修了した学生は、到達目標に掲げられているデータサイエンスに関する基礎的概念やデータの読み方、データなどのデータリテラシーへの理解を深めることができているとともに、分析目的に応じた適切なデータ分析手法を学んだことにより、専門分野での学習や研究に繋がっていると評価できる。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	「学習と授業に関するアンケート」に、後輩等他の学生への推奨度を測る設問はないものの、設問「この授業を受けて、授業の内容に興味・関心を持ちましたか」に対して、80%以上の学生が「強く持った」もしくは「やや持った」と回答しており、設問「この授業の総合評価は、どれに当てはまりますか」に対して、90%以上の学生が「非常に良い」「良い」と回答している。 以上のことから、本プログラムについて、受講学生による後輩等他の学生への推奨度は高いと予想することができる。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	「KGUデータサイエンス概論」は、オンデマンド形式のオンライン授業にすることで、時間割や教室定員に縛られることなく、履修を希望する全学生に履修機会を提供することができる。一方、「KGUデータサイエンス演習」は、対面授業であり、各学部の必修科目等と重複しないように時間割調整を行うとともに、各キャンパスごとに複数クラスを設けて、文理横断的に多くの学生が履修できるように図っている。 以上のことから、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況は概ね良好であるといえる。
[学外からの視点] 教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価は行っていないため、今後は評価の必要性及び評価の方法については、検討が必要である。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	本プログラムの導入科目である「KGUデータサイエンス概論」では、講義形式でありながら、実際にExcelでデータを扱う等演習の要素も取り入れ、データを活用することの意義を実感できる授業構成となっている。また、実社会で使われているデータに多く触れることで、学生に、より身近なものと感じさせるよう工夫している。 その結果、「学習と授業に関するアンケート」の設問「この授業を受けて、授業の内容に興味・関心を持ちましたか」に対して、80%以上の学生が「強く持った」もしくは「やや持った」と回答しており、設問「この授業の総合評価は、どれに当てはまりますか」に対して、90%以上の学生が「非常に良い」「良い」と回答している。 以上のことから、データサイエンス等の「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を受講生に理解させることができていると評価している。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	「KGUデータサイエンス演習」では、1クラスごとの人数制限を設けることで、教員の指導が行き届くよう配慮している。また、各クラスに1名以上の授業補助者(ティーチング・アシスタントまたはスチューデント・アシスタント)を配置し、履修者が疑問を分からないままにせず、すぐに解決できるような仕組みにしている。 その結果、「学習と授業に関するアンケート」の設問「この授業を受けて、授業の内容に興味・関心を持ちましたか」に対して、80%以上の学生が「強く持った」もしくは「やや持った」と回答しており、設問「この授業の総合評価は、どれに当てはまりますか」に対して、90%以上の学生が「非常に良い」「良い」と回答している。 以上のことから、本プログラムは、内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業になっていると評価できる。